

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12242

企画展開催事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		文化スポーツ費	
	目		博物館費	
	大事業		博物館事業	
	中事業		企画展開催事業	

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例		関連課	博物館 前田 423-0003

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	館蔵資料を広く市民に紹介する。		館蔵資料を市民に紹介するため、企画展を年数回開催する。		
事業内容	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	春は館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬には小学生の社会科の授業に合わせ展覧会を開催する。	春・夏・秋は館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬には小学生の社会科の授業に合わせ展覧会を開催する。	春・夏・秋は館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬は小学生の社会科の授業に合わせた展覧会を開催する。	春・夏・秋は館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬は小学生の社会科の授業に合わせた展覧会を開催する。	春・夏・秋は館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬は小学生の社会科の授業に合わせた展覧会を開催する。

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	354	354	387	381	398	397	1,171	0	1,171	0
伸び率(%)	△76.9%	0%	9.3%	7.6%	2.8%	4.2%	194.2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,629	3,258	6,618	6,462	8,015	8,015	6,522	0	6,522
	正規職員以外	2,175	3,071	500	942	954	954	954	0	954
	小計	3,804	6,329	7,118	7,404	8,969	8,969	7,476	0	7,476
国庫支出金	177	137	139	164	142	197	585	0	585	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	108	129	113	186	113	0	113	0
一般財源(税等)	177	217	140	88	143	14	473	0	473	0
所要人数(人)	正規職員	0.21	0.42	0.85	0.83	1.02	1.02	0.83	0.00	0.83
	正規職員以外	0.62	0.86	0.10	0.32	0.32	0.32	0.32	0.00	0.32
主な予算内訳	印刷製本費256千円 展示その他委託料69千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
企画展開催日数		日	目標値	83	83	150	150	150
			実績値	142	180	133		
			達成度(%)	171.1%	216.9%	88.7%	%	%
企画展入館者数		人	目標値	3600	3600	4800	6000	6000
			実績値	3535	5130	5993		
			達成度(%)	98.2%	142.5%	124.9%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	本事業は、収蔵資料を元に開催する事業である。また、小学校の社会科の単元に対応した教育プログラムを実施し、小学校の団体を学芸員が案内して学習効果を高めている。例年、市内の小学校の大半が授業で来館するなど、学校教育との連携がとれている。
見直し・改善内容	より多くの人に収蔵資料を見て和歌山の歴史・文化を知ってもらうために、興味を持たれそうなテーマや内容を考慮していく。また、現在の環境でより学習効果が高くなるよう、案内方法の工夫などを検討する。